

女性雇用環境調査結果のポイント

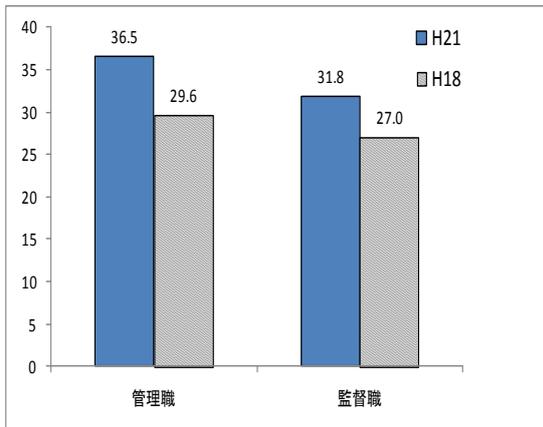
1 雇用管理について <事業所調査>

女性の管理・監督職がいる事業所の割合は上昇

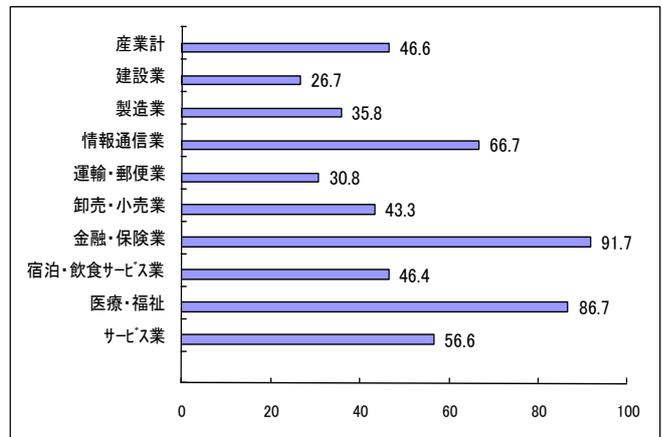
女性の管理・監督職を有する事業所の割合は、管理職36.5%（6.9ポイント増）、監督職31.8%（4.8ポイント増）で共に前回調査（H18）を上回っている。

産業別では金融・保険業が91.7%で最も高く、医療・福祉業86.7%、情報通信業66.7%、サービス業56.6%の順となっている。

女性の管理・監督職を有する事業所割合（%）



女性の管理・監督職を有する事業所割合(産業別)（%）



※管理職：部・課長職相当 監督職：係長職相当

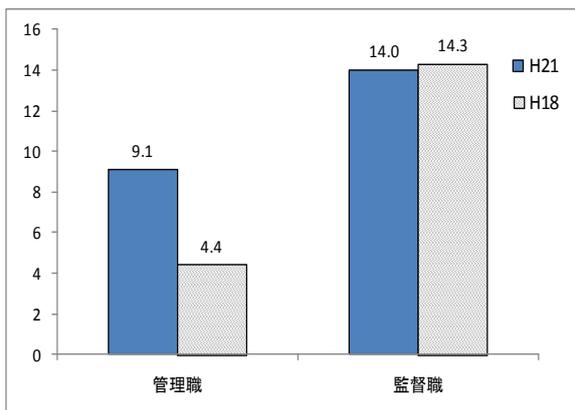
<事業所調査>

女性の管理・監督職が少ない事業所の理由は、「必要な知識や経験、判断力等を有する女性がない」が24.9%

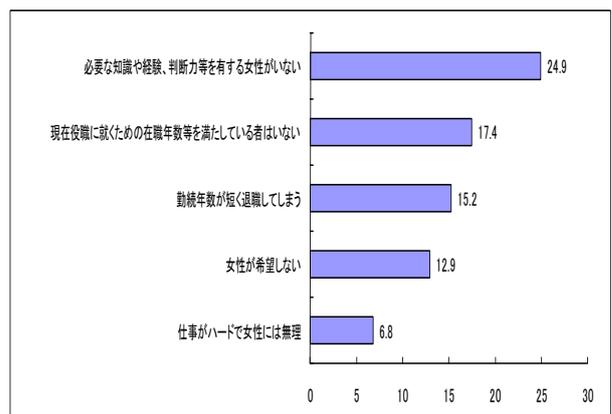
管理・監督職全体に占める女性の割合は、管理職9.1%、監督職14.0%となっており、前回調査（H18）に比べると管理職で4.7ポイント増加し、監督職で0.3ポイント減少している。

女性の管理・監督職が少ない（1割未満）又は全くいない役職区分が1つでもある事業所についてその理由をみると、「必要な知識や経験、判断力等を有する女性がない」とする割合が24.9%で最も高く、将来役職に就く可能性のある女性はあるが、「現在役職に就くための在職年数等を満たしていない」17.4%「勤続年数が短く役職者になるまでに退職する」15.2%の順となっている。

管理・監督職に占める女性の割合（%）



女性の管理・監督職が少ない事業所の理由（%）



2 育児休業制度について <事業所調査>

育児休業取得率：女性 92.8%、男性 0.8%

育児休業取得率は、女性92.8%、男性0.8%であり、男性は低水準。

育児休業取得率(常用労働者10人以上)

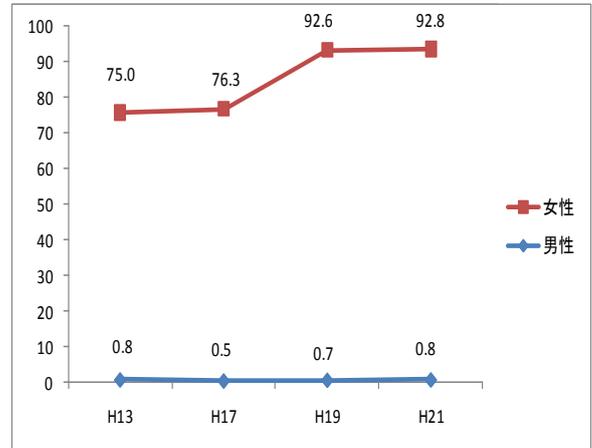
	女性	男性
出産者数(男性は配偶者が出産)	421	1,106
育児休業取得者数	391	9
育児休業取得率	92.8%	0.8%

注)・当調査報告書…常用労働者9人以下の事業所を含む

女性 92.7% 男性 0.8%

- ・ H19 数値…長野県賃金実態調査附帯調査結果(H20)
- ・ H17 数値…企業における男女共同参画社会づくり取組状況実態調査結果(H18)
- ・ H13 数値…H14 女性雇用環境調査

育児休業取得率推移 (%)

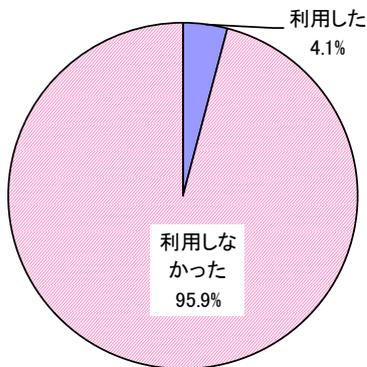


3 介護休業制度について <個人調査>

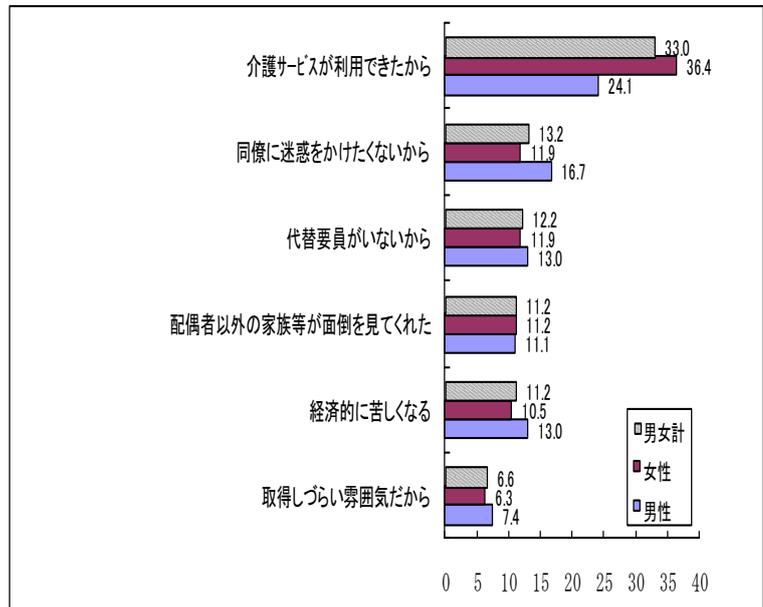
介護休暇制度を利用した者は4.1%
利用しなかった理由は「介護サービスが利用できたから」が男女ともにトップ

要介護状態にある家族がいた者の中で介護休業制度を利用した者は4.1%であった。利用しなかった理由をみると、「介護サービスが利用できたから」が33.0%で最も高かった。

介護休業制度の利用状況



介護休業制度を利用しなかった理由 (%)



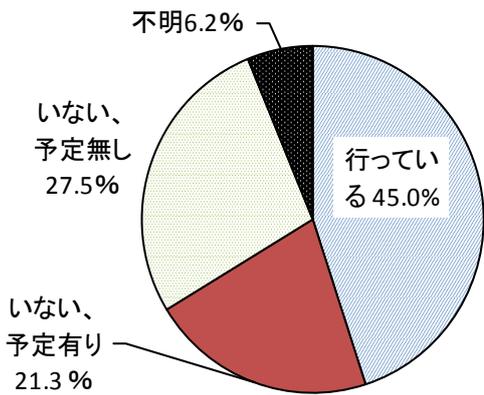
4 ポジティブアクションの取組状況 <事業所調査>

ポジティブアクションに取り組んでいる事業所は45.0%

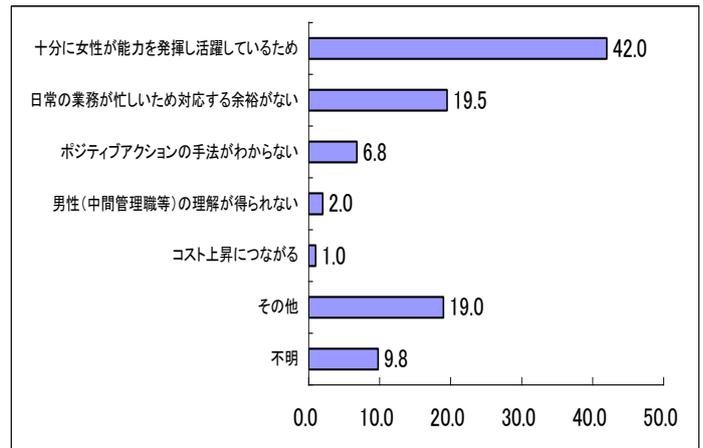
女性の能力発揮のための企業の積極的取組（ポジティブアクション）の状況を見ると、「取組を行っている」が45.0%、「取り組んでいない、今後の予定なし」27.5%、「取り組んでいない、今後の予定あり」が21.3%となっている。

取り組まない理由をみると、「十分に女性が能力を発揮し活躍しているため」が42.0%、「日常の業務が忙しいため対応する余裕がない」が19.5%となっている。

ポジティブアクションの取組状況



ポジティブアクションに取り組まない理由 (%)

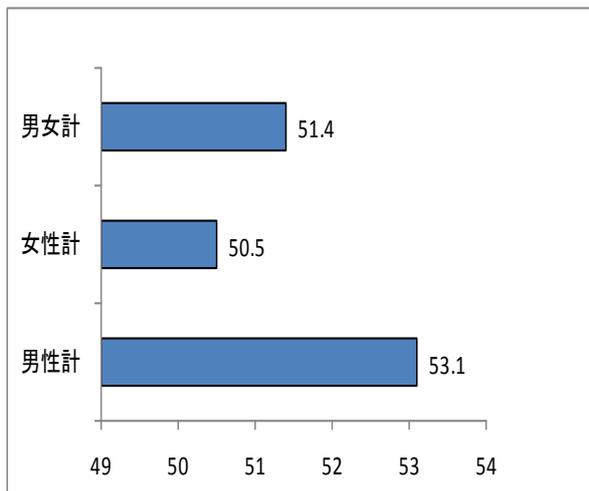


5 会社や仕事、家庭生活や職業観について <個人調査>

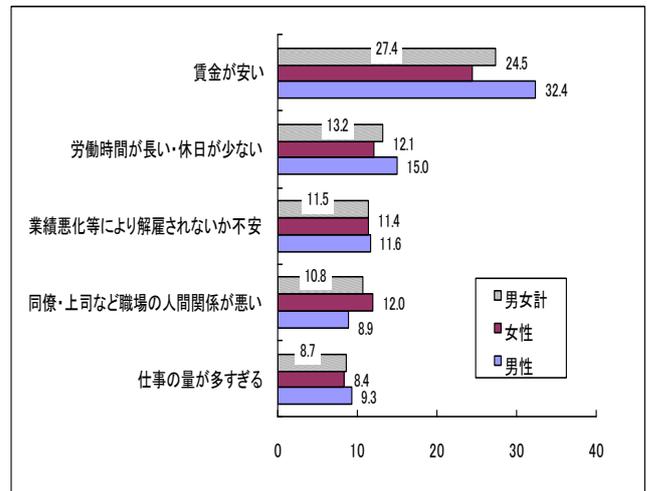
現在の労働条件や職場環境への不安や悩みは、51.4%の人が「ある」と回答
内容は「賃金が安い」が 女性24.5% 男性32.4%

現在の労働条件や職場環境への不安や悩みは5割の人が「ある」と回答し、内容は「賃金が安い」が27.4%で男女ともに最も高く、「労働時間が長い、休日が少ない」「業績の悪化等により解雇されないか不安」の順となっている。

現在の労働条件や職場環境への不安や悩み (%)



不安や悩みの内容 (%)



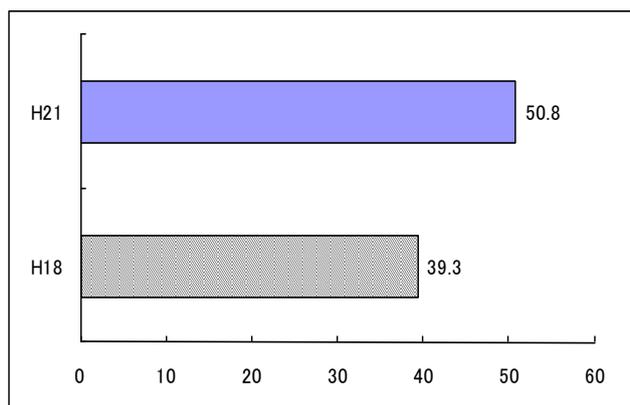
<事業所調査・個人調査>

女性労働者が再び働き始める時期に望ましいと考える雇用形態は、「正社員」と「パートタイマー」がほぼ同数

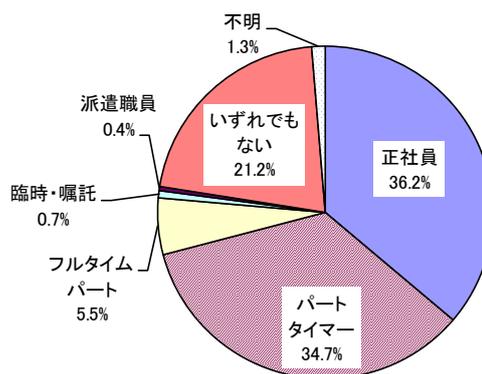
「中途採用」で女性を採用した事業所のうち、再就職する女性を採用した事業所は50.8%（11.5ポイント増）で前回調査（H18）より増加している。

女性労働者が再び働き始める時期に望ましいと考える雇用形態は、正社員36.2%、パートタイマー34.7%となっている。

中途採用で再就職する女性の採用状況 (%)



女性労働者が再び働き始める時期に望ましいと考える雇用形態



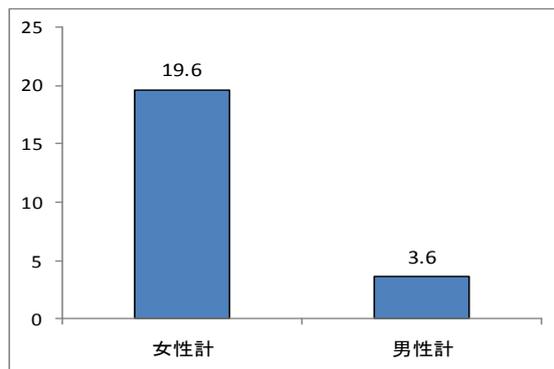
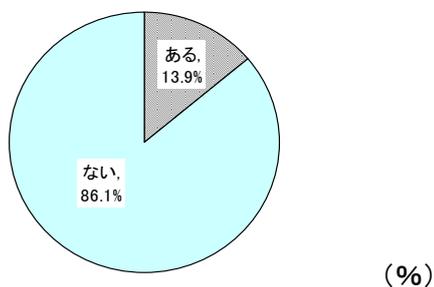
6 職場におけるセクシャルハラスメント <個人調査>

セクシャルハラスメント経験がある女性は19.6%

セクシャルハラスメント問題の解決策は「男性・女性の自覚を高める」が21.1%

職場でのセクシャルハラスメント経験が「ある」人の割合は13.9%、男女比は、女性が19.6%、男性3.6%となっている。

セクシャルハラスメント問題の解決策についてみると、「男性・女性の自覚を高める」が21.1%、「相談窓口を増やすなど社会的受け皿を充実させる」が19.7%の順となっている。



セクシャルハラスメント問題の解決策 (%)

